

大会への参加及び大会実施におけるガイドライン(案)

大会参加について

- 県外への遠征は、行わない。
- 学校の生徒や教職員等の中から新型コロナウイルス感染症の患者が発生したときは、その学校は臨時休業となることから、その間は生徒及び教職員は大会に参加することはできない。ただし、保健所が実施する疫学調査を踏まえ、専門家と協議した結果、参加できる場合もある。
- 大会に参加する選手、監督、コーチ、運営スタッフ等は過去2週間以内に県外へ行っていないこととし、大会の2週間前から検温結果及び、体調について別紙の「体調管理表」に記録し、体調不良や発熱等の風邪の症状がある場合は参加できないことを事前に周知する。主力選手であっても、このことを徹底する。また、大会当日大会本部へ「体調管理表」を提出する。
- コンタクトスポーツ（柔道、剣道、相撲、なぎなた、レスリング、ラグビー、ボクシング、空手、バスケットボール、ハンドボール、サッカー、フェンシング等）に参加する選手は、県外に過去2週間以内に行っていないこと、かつ2週間以内に発熱等の風邪の症状がない者についてのみ参加を認める。

移動・宿泊について

- 借り上げバスや公共交通機関を利用して移動する際は、可能な限り周囲との間隔を空けることとし、必ずマスクを着用する。併せて、可能な限り換気に努める。
- 大会が連日開催となる場合も、宿泊を行わない。

大会運営について

- 大会主催者は、感染症予防対策責任者を置き、その者の指揮命令の下、観客への対応も含め、大会における感染症予防対策を実施するとともに、事前に周知徹底する。
- 大会主催者は、中央競技団体からの活動方針やガイドラインに則って運営を行うこと。
- 大会主催者は、実施する具体的な感染予防対策を保護者へ提示し、生徒の参加についての同意書の提出を求めること。
- 出入口には、手指消毒剤を設置すること。
- 監督・コーチ・選手・運営スタッフ・観客全てを含め、室内は100名以下、屋外については200名以下（施設（会議室や更衣室等）の収容定員の半分以下）となるように、人数をコントロールする。
- 受付等において、参加者等が距離をおいて並べるよう目印を設置する。
- 対面する場所については、必要に応じて、アクリル板、透明ビニールカーテン等で遮蔽する。
- 監督、コーチ、選手、運営スタッフは必ずマスクを着用する。
- 選手は、ウォーミングアップ及び、試合中のみマスクを外すことができる。
- 試合の前後だけでなく試合中にも、こまめな手洗い又は、消毒を行う。
- 開会式や閉会式を実施する場合は密集とならないよう、参加人数を制限したり、周囲

との間隔を広くするなどして実施する。

- 屋内競技は試合中であっても定期的(1時間ごとに5～10分程度)に大会主催者主導で一斉に換気を行う。会場の状況によっては、送風機などで空間の空気を動かす対応も実施し密閉空間とならないよう努める。
- 選手が触れるボールや器械器具は可能であれば定期的に消毒する。
- 水分補給は個人で容器を用意し、まわし飲みはしない。
- タオルは個人で準備し、共用しない。また、必要に応じて手洗い場にペーパータオル(使い捨て)を準備する。
- 試合中は選手、監督、コーチは大きな掛け声は控える。
- ミーティングなどにおいて、密閉空間での長時間滞在を避ける。
- 更衣の際は、更衣室の使用人数を制限し、換気に努める。
- 試合会場で手を触れる場所は定期的にアルコール等で消毒を行う。
- 選手の待機場所については、大会主催者において場所を指定するなどして、密とならないようにする。

観客について ※無観客で実施することも要検討

- 観客を入れる場合は保護者のみとし、事前申請等により観客を限定し、観客名簿を作成し確認の上、当日入口にて許可証等を発行するとともに、次の内容について事前に周知する。
- 大会当日の朝、必ず検温し、発熱等の風邪の症状がある者は、来場できない。
- 観客は必ずマスクを着用し、周囲との間隔を十分空けるとともに、集団となつての応援はせず、発声による応援は行わない。
- 会場内での飲食は禁止とする。ただし、水分補給や服薬は除く。ただし、個人で容器を用意し、まわし飲みはしない。
- タオルは個人で準備し、共用しない。
- 上記の対応を守れない観客は退場いただくこと。

感染者が発生した場合の対応について

- 参加者等に感染者が発生した場合には、参加者等に連絡を取り、症状の確認がとれる体制を確保する。また、参加した者は保健所などの聞き取りに協力する。

※主催者は、上記以外の対策についても積極的に実施すること。

大会開催可否について

- 学校関係者に感染者が発生した場合は、開催を中止することもある。
- 十分な感染防止対策をとることができない場合は、開催を中止することもある。

その他

- 練習試合の実施にあたっては、上記の対策を可能な限り実施すること。
- 合同練習や記録会及び演技会等を実施する場合も、上記の対策を可能な限り実施すること。

◎上記の方針は、現時点でのものであり今後の新たな情報等により随時見直しを行います。